

2020年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2021年 3月24日
研究・研修課題名	呼吸治療専門臨床工学技士取得の為の研修補助
研究・研修組織名(所属)	呼吸治療専門臨床工学技士取得の為の研修補助 (MEセンター)
研究・研修責任者名(所属)	明穂一広 (MEセンター)
研究・研修実施者名(所属)	明穂一広、石飛翔吾 (MEセンター)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果 ()
該当者名(所属)	明穂一広、石飛翔吾 (MEセンター)
学会名(会期・場所)、認定名等	呼吸治療専門臨床工学技士
演題名・認証交付元等	日本臨床工学技士会
取得日・認定期間等	試験結果待ち
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有 () <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**① 目的**

呼吸治療専門臨床工学技士取得を目的とする

②方法

臨床工学技士会が主催する呼吸治療専門臨床工学検定試験の講習ならびに受験を行う

- 呼吸治療関連指定講習会に参加する

日時：2020年10月

講習会：eラーニング

- 臨床工学技士会が主催する呼吸治療専門臨床工学検定試験を受験する

日時：2021年2月13日

会場：eラーニングテストセンター

② 成果

・人工呼吸器に関する以下内容のセミナーをe-ラーニングで受講した。

人工呼吸器の基礎から臨床での治療に関しての講習を受講した。鎮静・鎮痛、急性期、周術期、フィジカルアセスメントなど、人工呼吸器に関わる臨床工学技士が理解しておくべき内容であり、大学病院では、不可欠となる知識であった。また、COVID-19患者管理において、人工呼吸管理は重要な部分を占めている。その為、人工呼吸器の知識の他に治療に関する高度な知識も必要となる。今回のセミナーでは、通常は3日間で行われるセミナーをWEB開催で受講しており、かなりの知識量になっている。当院では、近いうちに一般病棟での人工呼吸管理が始まる中で、安全にかつ、効果的な管理を行える為の基礎から応用のセミナーであり、今後の人工呼吸器の運用に関して有益なセミナーであった。

	講義内容	
講義1	呼吸器の解剖と呼吸生理 帝京大学医学部附属溝口病院	大村 昭人 先生
講義2	急性期の人工呼吸管理 昭和大学	小谷 透 先生
講義3	鎮痛・鎮静・せん妄予防 自治医科大学	布宮 伸 先生
講義4	急性期における循環管理 慶應義塾大学	香坂 俊 先生
講義5	周術期呼吸管理 横浜国立大学附属市民総合医療センター	大塚 将秀 先生
講義6	人工呼吸器関連肺炎および関連事象と合併症予防 広島大学大学院	志馬 伸朗 先生
講義7	呼吸管理におけるフィジカルアセスメント 東京女子医科大学	清野 雄介 先生
講義8	早期離床・リハビリテーション 亀田メディカルセンター	鞆澤 吉宏 先生
講義9	呼吸管理に必要な画像診断 獨協医科大学埼玉医療センター	長谷川 隆一 先生
講義10	血液ガスと酸塩基の評価 山形大学医学部附属病院	中根 正樹 先生
講義11	新生児、乳児に対する呼吸管理 神奈川県立こども医療センター	松井 晃 先生
講義12	臨床工学技士の呼吸治療業務と専門臨床工学技士の役割 横浜国立市民病院	相嶋 一登 先生
講義13	重症呼吸不全に対するECMO管理 名古屋第一赤十字病院	開 正宏 先生
講義14	酸素療法におけるデバイスの選択と患者評価 東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター	石井 宣大 先生
講義15	吸入療法と加温加湿 東大和病院	梶原 吉春 先生
講義16	呼吸管理の実際①(急性呼吸不全) 東京医科大学病院	上岡 晃一 先生
講義17	呼吸管理の実際②(慢性呼吸不全) JA広島総合病院	荒田 晋二 先生
講義18	呼吸管理の実際③(NPPV, HFNC) 神戸市立医療センター中央市民病院	石橋 一馬 先生
講義19	医療安全管理 東京医科大学	浦松 雅史 先生
講義20	在宅呼吸療法の課題と臨床工学技士の役割 兵庫医科大学病院	木村 政義 先生

・呼吸治療専門臨床工学検定試験を受験した。結果は2021年5月に発表される。